



2011.7.25 改訂

コラーゲン・ビーナスコート施工要領

内装仕上げクリーム



日本エムテクス株式会社
(施工要領書は予告無く変更することがあります)

はじめに

ビーナスコートはアッシュライトの次世代製品として開発されました。

- 冬場の施工時の白華や色むらなどを発生させない事で時期や地域を選ばない製品です。
- また、リフォーム時、既存のクロスを剥がす事なく、既存壁の上から施工でき、簡単に施工ができます。
- 火山噴出物とカルシウムを主原料とし、バインダーにコラーゲンをを用いた安全性の高いエコロジー製品です。

仕上がりは非常にソフトで、高級感があります。

- 機能面では火山噴出物の吸着性能と光触媒性能が高く、「ホルムアルデヒド」「ペット臭」「アンモニア臭」などを吸着させ分解するのが特徴です。
- 施工中の臭いがほとんどありませんので、安心してご使用いただけます。

施工の際は必ず施工マニュアルを参考に施工をおこなってください。

INDEX

1. 施工前の注意事項	3
2. 施工時の気象状況及び環境	3
3. 下地の適切な処理	3
4. 下地処理方法	4
・ リフォーム・・・5	
・ 新築・・・6	
5. ビーナスコートの施工にあたり	8
6. 各種仕上げ方法	9
7. 使用上の注意	11
8. ビーナスコートのお手入れについて	11

1. 施工前の注意事項

- ① **表面が縮まり、収縮している場合がございますが、自動攪拌機で攪拌することにより、柔らかくなります。必ず自動攪拌機をご用意ください。**
- ② 施工を行う前に十分な養生を行ってください。
万一製品が飛散した場合、速やかに塗れた布等で拭き取ってください。
- ③ 施工する道具はきれいに清掃したものを使用してください。
- ④ 施工終了時や休憩時には、付着して取れなくなる様道具を必ずきれいに清掃してください。

2. 施工時の気象状況及び環境

施工する際、乾燥・硬化の不具合が発生しますので、下記の様な状況の際は施工をお止めください。

- ① 気温が5℃以下の場合
- ② 湿度が85%以上の場合
- ③ 強風や過度の通風、または周囲の他の作業によって、飛散物やほこりの多いとき
- ④ 炎天で塗布面の温度が高く、塗面に泡が生じるとき
- ⑤ 下地の処理が不十分なとき

3. 下地の適切な処理

- ① 下地のエフロ、レイタンス、ゴミ、汚れなどはワイヤーブラシ、サンドペーパー、ウエスなどを使用し、乾燥した清潔な面にしてください。
- ② 鉄部や釘やビスの上にサビ止め処理を行ってください。
- ③ 激しい結露面や施工後間もない下地は十分に乾燥させた後に適切な処理を行ってください。(含水率8%以下)
- ④ 吸水の激しい下地には適切な吸水防止処理を行ってください。硬化不良の為、クラックが入ります。
- ⑤ 凹凸や隙間はパテ埋めなどにて平滑に調整してください。仕上げに影響します。

4. 下地処理方法

※ビナスコートは多少弾性はありますが、構造や下地の動きの激しい場合はクラックが入る恐れがございます。下地を強固にしてください。※詳しくは「**日本エムテクス社製品共通下地の作り方**」を参照してください。


●適応下地及び下地処理

下地の種類	下地処理工程①	下地処理工程②
ビニールクロス	シーラー処理	
左官壁	浸透シーラー	ビナスコートアク止めシーラー
石膏ボード	ジョイント処理	ビナスコートシーラー
コンパネ・ベニア	ジョイント処理	ビナスコートアク止めシーラー
コンクリート等	不陸調整	ビナスコートシーラー
ケイカル板	ケイカル専用シーラー	

※ビニールクロスなどにアクやヤニが付着している場合はアク止めシーラーをご使用ください。(施工する面にアクやヤニがあまりにも多く付着している場合はある程度除去した後、アク止めシーラーを塗布してください。)

●リフォーム

I. 既存ビニールクロスの場合



①クロスが剥がれ、浮きを確認する
■剥がれや浮きの部分をめくり、ボンドで止める。
(セメダイン株式会社製 がべっこ など)
※とくにマンションのリフォームなどで、コンクリートにクロスを直貼りしている箇所は剥がれやすくなっていますので、極力クロスをはがして施工してください。

※ 注射器で浮き部にボンド注入すると表面にキズをつける事なく補修できます。カッターで切れ目を入れて補修する際、切れ目の方向は上に塗布するローラを転がす方向に合わせてください。ジョイントがはっきり表に出る場合があります。

②シーラー塗布する

■ビナスコートシーラーを塗布する。

※アクやシミ、タバコのヤニ等が付着している場合、ビナスコートアク止めシーラーを塗布してください。

※クロス凹凸をあえて生かす場合、水を12～15%希釈し塗布します。

③再度下地をチェックする

■ シーラーを塗布した際、クロスの接着が弱い部分が浮き出てくる事があります。その際、①の要領でボンドで補修してください。

【下地処理における注意事項】

- クロスジョイント、新規壁ジョイントは不陸の無い状態にしてください。
- クロス下地の場合、クロスと下地の密着性が悪い場合は一度剥がしてからシーラー処理してください。
- アクやヤニなどの汚れが激しい場合は、ある程度拭き取る事や、アク止めシーラーを2度塗布するなどの処置が必要です。

【注意事項】

- 注1) 下地のクロス凹凸が激しい場合、仕上げ面に凹凸が出ます。
- 注2) 紙クロスや布クロスの場合、シーラー処理を十分にいき吸水を止めてください。

II. 既存左官壁の場合

(土、モルタル、石膏プラスター、繊維、じゅらく、京壁、コンクリート等)

①浸透性下地強化剤で古壁を固める。

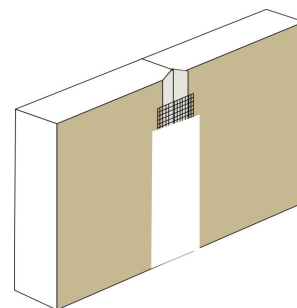
- ※ 下地が強固な場合は不要です。
- ※ 手で触って、ポロポロと崩れる古壁の場合は、剥がしてから不陸を調整してください。

②ビナスコートアク止めシーラーを塗布する。

※アク止め効果のある浸透シーラーや塗りかえ専用下塗り材を使用する場合は不要です。(水引きの激しい場合はシーラー処理し調整してください)

●新 築

I. 石膏ボードの場合



②シーラー処理

I. <塗装下地をつくる>

- ①ジョイント処理を行う
ファイバーテープ処理⇒パテ打ち(下パテ→中(上)パテ)⇒不陸調整

※下パテ後サンドペーパーをかけ不陸調整する場合、下パテの粉が残り、シーラーが接着できませんので、最低でも中パテまで行ってからサンドペーパーかけしてください。

推奨パテ: 下パテ→MK弾性ガードⅡ
仕上げパテ→MKダンパテ(メーコー株製)

※シーラーはビナスコートシーラーを使用してください。

■下地の動きが激しい場合や不陸の激しい場合左官下地をつくる事も可能です。

II. <左官下地をつくる場合>

- ①ジョイント処理を行う
ファイバーテープ処理⇒パテ打ち

②カーボンコートコテ塗り(0.5～1mm)

※カーボンコートは10キロ/1袋(10㎡可)を用意しています。但し、発注は偶数単位になります。(1箱2袋入り)

II. コンパネ・ベニアの場合

① ジョイント処理

② アク止めシーラー

※場合に応じて左官下地

Ⅱ.コンクリート、モルタルその他の場合

①不陸調整

②シーラー処理

※シーラーはコンクリート用、ケイカル板用シーラーなど下地に合わせてご使用ください。

※ 場合に応じて左官下地

Ⅲ.塗装下地専用クロスへの塗布

(ルナファーマーなど)

①クロス貼り

②ビーナスコート塗布(水の希釈 12~15%)約 40~50 m²施工可能です。

■ 下地処理における注意事項

● 新規壁の場合ビーナスコートの下地は塗装下地、左官下地のどちらでも可能です。例えばローラー、吹き付け下地は塗装業者の方が施工を行うので、塗装下地、コテ塗りの場合または、下地の不陸が激しいとき、動き易い下地のときは左官下地等、用途などによって使いわける事ができます。

● クロス下地の場合、クロスと下地の密着性が悪い場合は、一度剥がしてから、シーラー処理してください。

● クロスジョイント、新規壁ジョイントは不陸の無い状態にしてください。

● アクやヤニなどの汚れが激しい場合、アク止めシーラーを2度塗布してください。

【各種下地処理材紹介】

1.シーラー ビーナスコートシーラー 4 kg入り (約 35 m²可能)

2.アク止めシーラー ビーナスコートアク止めシーラー 4 kg入り (約 35 m²可能)

3.下塗り材 カーボンコート 10 kg(約 10 m²可能)

5. ビーナスコートの施工にあたり

■ 荷姿 : 16kgポリペール缶

■ 色 : 全8色(既調合)

※ ビーナスコートは吸湿作用をもっているため、二度塗りで仕上げる場合には二度目は水引が生じる為、特に注意が必要です。マニュアルの 6 の部分をよく読み、ご不明の点はお問い合わせください。

【各種仕上げによる施工可能面積】

仕上げパターン	施工可能面積 (16kg/缶)	施工面積 (m ² /kg)	希釈率	工程 間隔
ローラー塗り (標準)	30~35 m ²	1.9~2.2 m ² /kg	3~7%	2 時間
刷毛塗り	20~25 m ²	1.2~1.6 m ² /kg	3~6%	
コテ塗り (0.5~1mm)	18~22 m ²	1.1~1.4 m ² /kg	0~3%	
吹き付け (0.5mm)	25~35 m ²	1.6~2.2 m ² /kg	7~10%	

【推奨工具】

1.ローラー

- ・ 中毛 …標準
- ・ 長中毛 …厚塗り

2.コテ

- ・ ステンレス製 仕上げコテ

3.ハケ

- ・ ほうきバケ、左官バケ(毛の固いもの)

4.吹き付け

- ・ 小さな粒子状に(なし地仕上げ)する場合はじゅらくガンがおすすめです。

6. 各種仕上げ方法

※ 施工の前段階として、ビーナスコート入りポリパール缶に各仕上げに応じた基準量の水を加え、必ず自動攪拌機でよく攪拌してください。

① ローラー仕上げ

・ウールローラー(中毛ないし長中毛)でローラーの境を取り、仕上げながら施工します。

- ※ クロスの上に施工する場合、クロスジョイントを目立ちにくくする為、ジョイントと平行にローラーパターンを付けてください。(クロスのパターンを消すことはできません。)
- ※ ジョイントの無い下地は、お好みに応じて、ローラーパターンを縦横どちらでも施工できます。
- ※ クロス凹凸を敢えて出す場合、ビーナスコートに 1600cc 程度の水を加えてから施工してください。
- ※ 厚付けし、ローラーパターンの凹凸を出す場合は、施工面に多めに材料を配ってからならしてください。使用する量の目安は前ページを参照ください。
- ※ 厚みが 1mm を超えたり、凹凸の激しいパターンにするとクラックが入りますのでご注意ください。

※**要注意** 二度塗りで行う場合、一度目は 12% 程度の水で希釈して色づけ飲み行い、二度目は 6% 程度の希釈で仕上げてください。一度目の希釈が少ないと二度目の塗布時に水を吸われるため、ピンホールやローラームラが生じます。

② コテ仕上げ

・ステンレス製の仕上げコテ(やわらかい)で施工します。

・手板に必要な量を取り、手板の上でよく揉みながら 0.5～1mm 程度で塗りつけます。

- ※ 塗りっぱなし程度のパターンをつけます。コテ波は残します。(1 回仕上げ)
- ※ コテ押さえは出来ません。
- ※ スピーディーに作業を行える為、表面が早く乾きます。塗りつけた後、15 分程度で仕上げまで行ってください。

※ 厚みが 1mm を超えたり、凹凸の激しいパターンにするとクラックが入りますのでご注意ください。

③ 刷毛仕上げ

- ・ローラー(長毛)で厚めに塗った後、すみやかに刷毛でパターン付けします。
- ・前記コテ仕上げの要領で施工後、スピーディーに刷毛引きすることもできます。

③ 吹き付け仕上

<1 回仕上げの場合>

・スプレーガン 1.3～2mm もしくはリシンガン 口径 3mmで吹き付けます。
(サンプル帳の吹き付けパターンはじゅらくガン口径 3mm で施工しています。)

<2 回仕上げの場合>

- ・まず 12～18% の水で希釈したビーナスコートをローラーで塗布し、完全乾燥後 7～10% の水で希釈したビーナスコートを上記要領で吹き付けます。

※2回吹き付ける場合、間隔を 1 時間以上おいてください。

④ ワラスサ入りローラー仕上げ

・ビーナスコートの入ったポリパール缶に、水 5%～15% (800g から 2400g) ワラスサパック 1 袋を混ぜ、攪拌機で十分に攪拌する。

・ウールローラー(中毛・長中毛)でローラーの境を取り、仕上げながら施工します。ネタをローラーにのっける際にはワラがローラーにつくようにその都度バケツ内で混ぜてください。

・ワラの分散密度は均一にはなりません。ワラが着き過ぎた部分はローラーを何度か転がし、ワラを弾き飛ばしてください。

- ※ 水・ワラの量は目安ですが水が多すぎるとワラの接着が悪くなります。15% を限度としてください。
- ※ 天井への施工はワラスサののりが悪くなるため避けてください。
- ※ 施工可能面積は通常のローラー施工同様厚塗り、薄塗りにより異なります。

7. 使用上の注意

- 目に入った場合、多量の水で洗い流し、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 子供の手の届かない所に保管し、取り扱いには十分ご注意ください。
- 作業時は保護手袋、保護眼鏡を使用してください。
- 捨てるときは産業廃棄物として処理してください。
- 一度開封したら早めにご使用ください。

8. ビーナスコートのお手入れについて

汚れた場合は速やかに処理する事が大事です。

おおむね下記要領で汚れなどを処理することができますが、汚れの具合により異なります。

方法 種類	消しゴム	サンドペーパー	中性洗剤	塩素系 漂白剤
ペン・マジック	X	△	X	X
えんぴつ	○	△	X	X
コーヒー・お 茶・ジュース	X	X	X	○
しょうゆ・ソース	X	X	△	○
手あか	○	○	△	△

○・・・ほとんど無くなる △・・・多少残る X・・・除去が難しい

上記にて処理できない場合はタッチアップ材を用意しています。

■タッチアップ材・・・筆・ビーナスコート(小瓶詰め)一式・・・色品番指定ください

※ 瓶に多少の水を加え、汚れやキズの部分に筆でぼかす様に塗ります。

※ 入隅のクラックについては、ポンドコークやセメダイン株式会社製 穴うめパテ等で調整してからタッチアップすることをお薦めします。